

第5回県連女性部一日研修会 ネット社会をわかりやすく解説 青年部との連携も

「第5回県連女性部一日研修会」を昨年10月25日、同和企業センターで松井雅代・女性運動部員が司会をつとめ17支部37人が参加した。

はじめに、山本昌代・女性運動部長が「コロナ禍のなか、全女や全国大会が中止となり県連女性部大会も書面決議となった。コロナ感染者に接するなかで、患者の情報がすぐに拡散する場面であらう。ネットの情報のはうのみにしないが、同僚からの情報が結果的にデマだったこともあり、なぜ信じたのか、一つの情報をどういうふうに受け止めるのかと考えさせられたことがあった。今日の講演を活かしていきたい」とあいさつした。



あいさつする
山本女性運動部長

ト空間は今や無法地帯と化し、偏見や差別、フェイク(デマ)情報が氾濫し拡散されている。人びとの不安心理がフェイクを拡散し、差別の自己正当化や自衛警察の暴走など、感染者への差別や排除がまん延する。さらに、示現舎による事件は、部落や部落民をネット上にさらし、誰でも閲覧できるような仕組みを作ったことで、すべての人の個人情報に危機であるといえる。モニタリングと削除要請をおこなっている自治体もあり、誹謗中傷ホットラ



県政報告する
藤本県議

インの開設や差別を許さないカウンタ活動も各地でおこなわれるなど、少し動きはじめた。私たちにできることは、SNSを活かした部落問題を正しく学べる情報発信や差別投稿の違反通報、さらには過酷な差別体験をもち人生の先輩である女性部とネットや情報発信に長けている青年部がとらえ、とりくんでいくことが重要」と結び、当時の中学生によるショッキングなヘイト動画や自分の差別体験もまじえ、分かりやすく説明された。最後に、閉会のあいさつをかねて、藤本眞利子・県議会議員から少子化にともなう県立高校の再編問題や災害時の避難場所問題、犬猫のさつ処分ゼロにすることの3点の県政報告がされ、研修会をおえた。

杭ノ瀬支部青年部 定期大会ひらく

杭ノ瀬支部青年部定期大会を10月16日、杭ノ瀬児童館でひらき、12人の青年が結集した。

主催者を代表して、杭ノ瀬支部の坂田利季弥・青年部長から「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で私たち青年部活動が自粛されている。こうしたなか、後継者や人材育成、就労問題など多々ありますが、この定期大会を機にきちんと向き合い、少しでも前進していきたい」とあいさつした。つづいて、来賓として松井資喜・県連青年部長より「今年に入り、新型コロナウイルス」



あいさつする坂田青年部長

女性部だより の発送

新型コロナウイルスの感染拡大によって、日常生活も大きく変化し、解放運動も、大会や集会、会議の延期や中止、開催されても、さまざま制限や制約があるなかでのとりくみとなっている。このようなか、女性運動部は、運動の歩みを止めてはいけない、力を合わせて活動をすすめていきたいとの思いから、10月には第5回女性部一日研修会を開催した。さらに、11月に「コロナ禍における地域活動(女性部)について」のアンケート調査を各支部に依頼し実施した。それらのまとめを、「じよせいぶだより」として3月に各支部に配布する。

第4回インターネット差別情報会議 差別書き込みをモニタリング 実演講習で削除

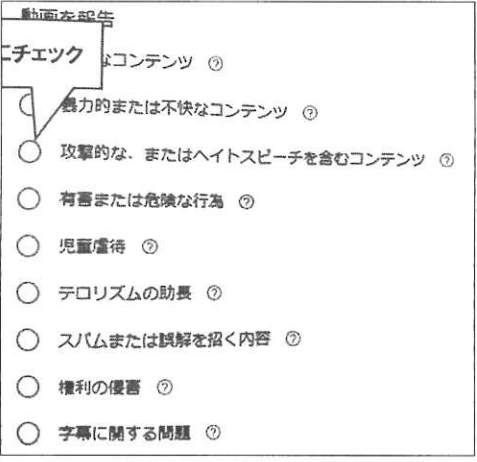
デジタルデバイド(インターネットを利用する人としていない人との情報格差)を縮めるため、モニタリングを体験してみようという試みを1月24日、Zoomで実施され和歌山から10人をふくむ46人が参加した。

北口末広・インターネット差別情報PT委員長のあいさつのもと、これまでの経過が説明され、実演練習「モニタリング入門」が滋賀人権センターの松浦広明さんからわかりやすい説明があつた。2chや5chのサイトから、差別用語や隠語でスレッドを検索し、削除するという流れを実演。You TubeやTwitterの通報には、googleアカウントが



実践のようす

必要、google検索は頻繁におこなうと検索結果上位候補にあがり、差別サイトを多くの人に示してしまうことなどが詳細に説明された。まとめで、参加者



チェックポイントを示し説明された

から部落my mapがまだ削除されていない、コロナマップがアップされている、大島テルの事故物件サイトも注視すべき、爆サイの削除率がさがってきたなど、多くの情報がかわされた。最後に、北口委員長から、マルチポスト(同じ文章を他サイトでも投稿する)はいたちごっこになるが、削除要請するしかない。今後、大切なことは、①特徴をつかみ、②特徴を活用し、③特徴をつかんで活用して政策を打ち、④実践する。世界の人権運動として、サイバー対応・サイバー行動隊として実践しようとする会のあいさつがあつた。



臨場感あふれる川口事務局長